

研究課題名：	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
研究機関名 所属（診療科等）：	日本救急医学会、日本外傷学会 防衛医科大学校防衛医学研究センター 外傷研究部門 齋藤 大蔵
研究責任者及び職名：	高度救命救急センター 副部長 五木田 昌士
研究期間：	2017年 9月 4日 ～ 2020年 3月 31日
研究の目的と意義：	各医療機関における外傷診療の現状を明らかにし、集積されたデータを分析することで、どの診療行為が予後を改善しうるかを明らかにする。診療精度の向上、予後予測指標の作成などの研究を実施することにより、外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待される。
研究内容：	当院高度救命救急センターを受診した AIS 重症度スコア*が 3 以上の外傷患者様を対象とする。 研究対象者基本情報として年齢、性別、受傷日時、病院前情報、転院搬送情報、来院時情報（バイタルサイン）、既往歴、検査所見、救命処置、輸血、手術、診断名、合併症、入退院情報、退院時機能評価等を利用する。 対象患者様より取得した上記診療情報を登録フォーマットに従って抽出し、日本外傷データバンク専用のウェブサイトから入力する。介入・侵襲を伴わない多施設共同前向き観察研究。
個人情報の取り扱い	個人を特定できる情報（氏名、住所、生年月日）を除外した形でデータを診療録から抽出（匿名化する）、専用ウェブサイト上で日本外傷データバンクのデータベースへ入力を行う。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 氏名：五木田 昌士 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111 （内線 3321）

*AIS：交通外傷患者様の解剖学的重症度を評価するために作成された外傷の分類方法で、外傷の部位と性情を診断コードで表し、重症度を 1~6 のスコアで評価する。

1：軽症、2：中等度、3：重症、4：重篤、5：瀕死、6：致命的（即死）